



株式会社仁張工作所 環境経営レポート 2019

期間：2018年12月21日～2019年12月20日



環境省
エコアクション21
認証番号 0000049

2020年9月20日 発行

環境経営レポート目次

1. ご挨拶
 2. 会社概要
 - 2-1. 会社概要
 - 2-2. エコアクション対象範囲
 - 2-3. 経営理念・行動規範・品質方針
 3. 環境経営方針
 4. EA21推進組織
 5. 環境経営目標
 - 5-1. 環境経営目標及び中期計画
 - 5-2. 2019年度単年度計画
 6. 2019年度達成状況
 - 6-1. 環境経営目標達成状況
 - 6-2. 結果と評価
 - 6-3. 総量実績推移
 7. マテリアルバランス
 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟の有無
 - 8-1. 法令遵守状況
 - 8-2. 違反・訴訟の有無
 - 8-3. 近隣よりの苦情の有無
 9. 2019年度の取組み
 - 9-1. 事業継続計画 (BCP)
 - 9-2. 消防訓練
 - 9-3. 非常事態処理訓練
 10. その他の取組み
 - 10-1. 地域の清掃活動
 11. マネジメントレビュー
 - 11-1. 経営者による全体評価
 - 11-2. 次年度に向けて(アクション)
- あとがき

1. ご挨拶

当社は2000年に品質マネジメントシステムISO9002を認証取得し、環境マネジメントシステムについては、2003年度に環境省が実施したエコアクション21試行版によるパイロット企業として参画して以来、認証取得して16年目を迎えました。現在は「品質活動と環境活動が重なり合った経営マネジメントシステム」として経営の有効なツールと認識し、生産活動を進めております。

2019年は、弊社の“ハイブリッド生産”（内製と委託加工）の状況下でより正確な評価をするためにどうすればよいかの検討（前年より継続）と“これまでの進め方を続けることがマンネリ化しているのではないか？”を積極的に検証しながら環境経営レポート作成に取り組みました。

ここに2019年度の環境経営活動の結果をまとめ報告します。

久保正之

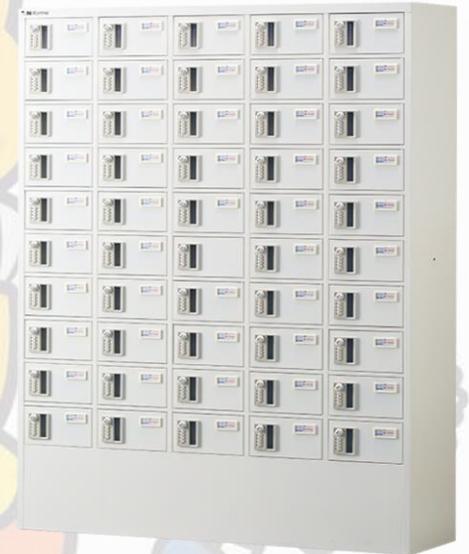
2. 会社概要

2-1 会社概要

1964年10月1日、東海道新幹線が開通した記念すべき日に産声を上げた仁張工作所は 2019年10月1日に創業55年の節目を迎えました。創業以来、弊社は主としてスチールやステンレスの薄鋼板を加工して各種保管庫、キャビネット、デスクなどを設計・製作するほか、幅広い用途を持つ箱物板金製品・各種精密板金製品を提供してきました。

現在では多業種・多業界における一次サプライヤーとしての板金加工部品供給を筆頭にOEM製品やオーダーメイド、オリジナル製品など多様な製品を提供し続けています。ご興味のある方は下記HPもご覧ください。

URL <https://nimbari.co.jp/>



2. 会社概要

2-2 エコアクション対象範囲

事業所名 株式会社仁張工作所

URL <https://nimbari.co.jp/>

エコアクション21の対象範囲と所在地(2019年12月現在)

- ・ 本社及び本社工場 〒578-0921 大阪府東大阪市水走3丁目14番6号
- ・ 仕上棟 〒578-0921 大阪府東大阪市水走3丁目8番26号
- ・ 東大阪第二工場 〒578-0921 大阪府東大阪市水走3丁目6番10号
- ・ 三和工場 〒620-1442 京都府福知山市三和町千東814番地

環境経営活動担当者の連絡先

環境管理責任者 仁張 茂

事務局 総務経理部

連絡先 Tel : 072 - 962 - 2831 Fax : 072 - 963 - 4183

E-mail s.nimbari@nimbari.co.jp

事業活動 (認証・登録範囲)

精密板金加工製品、別注スチール家具・什器、箱物板金加工製品の製造

(「環境経営レポート2019」についての問合せは事務局までご連絡ください)

2. 会社概要

2-3 経営理念・行動規範・品質方針

経営理念

1. 私たちは板金加工を通じてよい商品(もの)を社会に提供し安全で快適な生活空間を創造します
2. 私たちはお客様の満足を通じて仕事に誇りを持ちよりよい生活を実現し働きがいのある会社づくりに努力します
3. 私たちは常に新しい板金加工技術について積極的に学び自分たちのものとし共有化することによって技術レベルの高い信頼される会社を目指します

行動規範

1. 規律正しく行動し、仕事に対して誠実になろう
2. 決められた事を守り、妥協しないプロ集団になろう
3. 社員は仲間 相手の考えを受け止め、自分の考えを入れこみ“私たち”の考えをつくろう

品質方針

「品質に責任を持ち、顧客の信頼に応える」

3. 環境経営方針

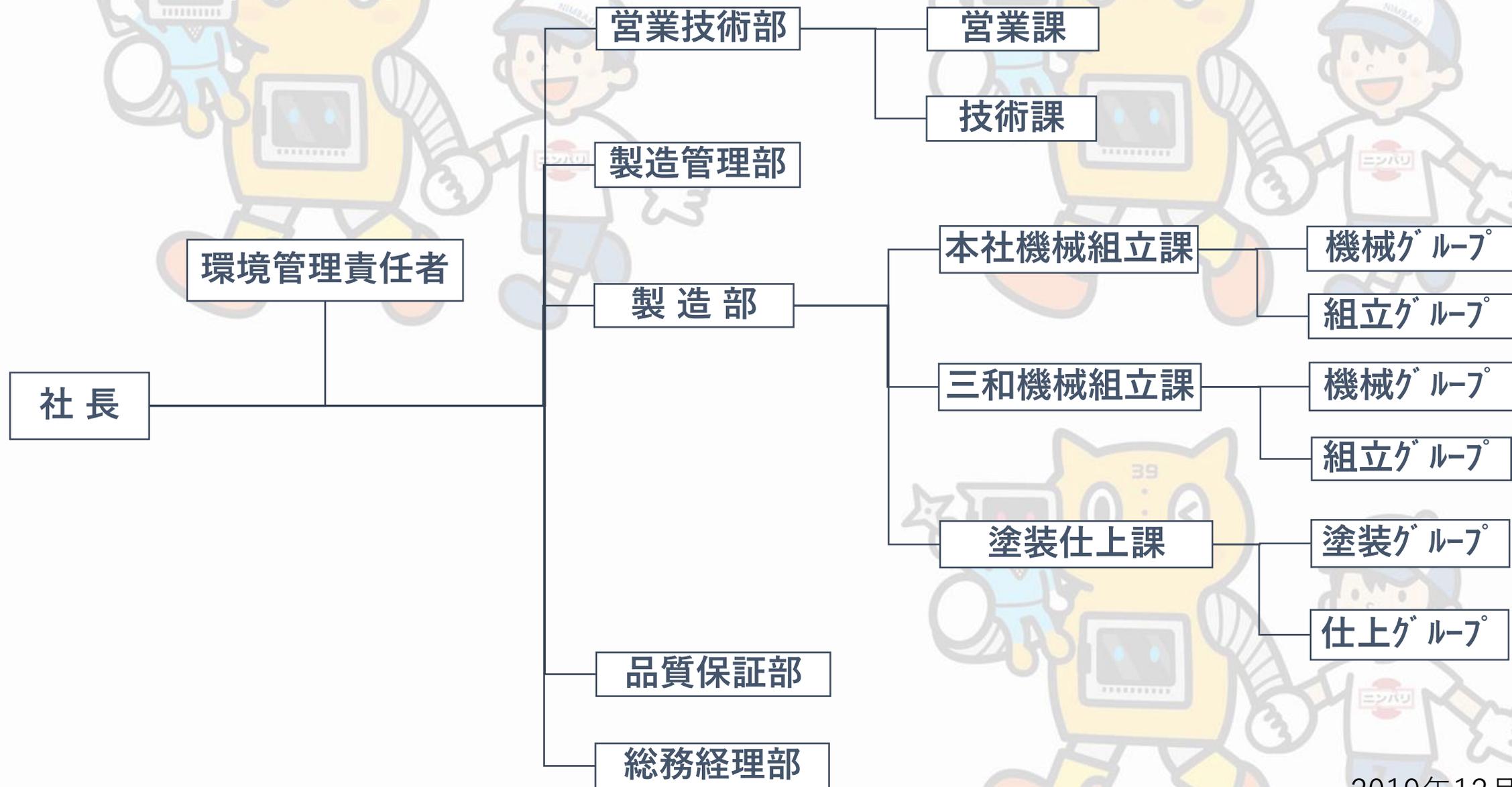
私たち株式会社仁張工作所は 経営理念に基づき 板金加工製品のモノづくり事業を遂行するにあたり 環境影響をとらえ 社員の育成と成長を通じて 自然資源を維持する ‘地球にやさしい’ 取組みを展開します

環境経営方針

1. 現在及び将来の事業活動において 環境経営目標を定め 技術的 経済的に可能な範囲で継続的改善に努めます
2. 品質を良くすることは環境につながることを理解し 生産性向上によるエネルギーや資源の有効活用と共に 環境負荷の軽減に努めます
3. 適用される環境関連法規及び 当社が個別に同意した要求事項を遵守します
4. 環境経営方針を全社員に周知すると共に教育・啓蒙活動を通じて全社員に環境に関する意識の向上を図ります
また 当社の取引先・外部委託業者にも環境経営方針の理解と努力を求めます
5. 環境経営に対する取り組みは 地域社会や行政 社員などに情報を開示して 良好なコミュニケーションを維持します
6. これらを推進するため環境マネジメントシステム(EMS)を構築して 維持します

2020年04月21日 仁張正之

4. EA21 推進組織



5. 環境経営目標

5-1 環境経営目標及び中期計画

| 番号 | 最終目標項目 (2016年度をベンチマーク) | 2016年度実績 | 2018年度 目標 | | 2019年度 目標 | | 2020年度目標 | |
|-----|---|--|-----------------------|-------------------|-----------------------|-------------------|-----------------------|-------------------|
| E-1 | CO ₂ 削減 | 551kg-CO ₂ | 534kg-CO ₂ | | 523kg-CO ₂ | | 507kg-CO ₂ | |
| E-2 | 産業廃棄物削減 | 33,446kg | 32,443kg | | 32,443kg | | 32,443kg | |
| | 紙のリサイクル推進 | 12.0kg | 11.6kg | | 11.4kg | | 11.4kg | |
| | 新紙購入量削減 | 250枚 | 243枚 | | 243枚 | | 243枚 | |
| E-3 | 水使用量の削減 | 塗装：0.5m ³ 社内製造：1.8m ³ | 塗装 | 社内製造 | 塗装 | 社内製造 | 塗装 | 社内製造 |
| | | | 0.47m ³ | 1.7m ³ | 0.47m ³ | 1.7m ³ | 0.46m ³ | 1.6m ³ |
| E-4 | シナーの購入量削減 | 7.5ℓ | 7.3ℓ | | 7.1ℓ | | 6.9ℓ | |
| | 化学物質使用量の把握 | 100% | 100%対応 | | 100%対応 | | 100%対応 | |
| | 塗料不良率削減 | 2.0% | 1.8%以下 | | 1.7%以下 | | 1.6%以下 | |
| | 粉体塗料比率向上 | 24.7% | 26%以上 | | 26%以上 | | 28%以上 | |
| E-5 | 環境負荷の削減 顧客からのネットワーク上での 調査依頼に対して100%対応する | 100%対応 | 100%対応 | | 100%対応 | | 100%対応 | |

5. 環境経営目標

5-2 2019年度単年度計画

E-1. CO₂の削減

原単位は生産高100万円あたり

| 取組み内容 | 目標値 | 実行部署 |
|-----------------------------|--|------|
| 1.作業と設備の効率化で社内生産での電力削減 | 原単位-5% 731kWh | 全部課 |
| 2.品質不具合を削減し手直しや再製作のロスを防止する | クレーム件数60件以下 場内不具合100件以下 | |
| 3.塗装の作業改善、品質改善で社内生産でのLPG削減 | LPG原単位-5% 12.4m ³ | |
| 4.クールビズ・ウォームビズを実施し冷暖房用燃料の削減 | 都市ガス原単位-5% 3.3m ³ 灯油原単位-5% 1.9ℓ | |
| 5.物流の効率化で車燃料削減 | 車燃料原単位-5% 7.4ℓ | |

E-2. リサイクルを含む産業廃棄物の削減

| 取組み内容 | 目標値 | 実行部署 |
|---|--------------------|------|
| 1.塗装の品質及び生産改善により引火性廃油及び汚泥の排出削減 | 排出量原単位-5% 8.3 kg | 塗装G |
| 2.一般廃棄物の削減 | 排出量-3% 32,443kg | 全部課 |
| 3.ネッキング及び品質不具合削減により金属スクラップ 排出量削減(アルミ缶を除く) | 排出量原単位-3% 228kg | |
| 4.工程移動の改善及び下記新紙対策により紙リサイクル排出量の削減 (段ボール、包装紙、用紙など) | 排出量原単位-5% 11.4kg | |
| 5.紙購入の削減 文書及び記録の紙配布を廃止し、社内LANを活用することで紙使用量を削減する。併せて可能な限り裏紙を使用する。 | A4換算購入量-3% 原単位243枚 | |

5. 環境経営目標

5-2 2019年度単年度計画(続き)

E-3. 総排水量の削減

原単位は生産高100万円あたり

| 取組み内容 | 目標値 | 実行部署 |
|--|---------------------------------|------|
| 1.塗装G水使用量の削減 塗装前処理水抜きなどの工程で塗装水使用量を削減する。 | 塗装水使用量原単位-5% 0.47m ³ | 塗装G |
| 2.給水設備点検を行い、水漏れを防止して一般水使用量維持。 | 社内製造原単位1.7m ³ | 全部署 |

E-4. 化学物質使用量の削減

| 取組み内容 | 目標値 | 実行部署 |
|------------------------------------|----------------------|--------|
| 1.化学物質使用量の把握(把握するのはPRTR制度対象物質) | 未把握物質:0件 毎月使用量把握100% | 品証 |
| 2.シンナー購入量の削減 前処理ラインの利用でシンナー拭きを減らす。 | 購入量原単位-5% 7.1ℓ | 塗装G |
| 3.塗装の不具合要因を分析し、不良を削減 | 塗料不良率 1.7%以下 | |
| 4.粉体塗装適用製品を広げVOCを削減する。 | 粉体塗料比率 26%以上 | 塗装G/技術 |

E-5. 環境負荷の削減

| 取組み内容 | 目標値 | 実行部署 |
|--|--------|------|
| 1.環境に配慮した製品設計・部材調達 RoHS,REACH対応等顧客要求に応える。 | 100%対応 | 技術課 |
| 2.有害化学物質含有量の少ない部材調達ならびに供給者ネットワーク確立 顧客からのネットワーク上での調査依頼に対して、100%対応する。 | 100%対応 | 品証 |

6. 2019年度達成状況

6-1 環境経営目標達成状況

原単位は生産高100万円あたり

| 番号 | 計画項目 | 目標値 | 監視項目 | 個別目標値 | 実績 | 差異 | 評価 |
|-----|--|---|---|--|--|------------------|----|
| E-1 | 1.作業と設備の効率化で 社内生産での電力削減 | 原単位 532kg-CO ₂ ※1 (2016年度比-5%) | 電力kWh (kg-CO ₂) | 731kWh (360.4) | 844kWh (416.2) | (+55.7) | ✖ |
| | 2.塗装の作業改善品質改善で社内生産でのLPG削減 | | LPGm ³ (kg-CO ₂) | 12.4m ³ (85.1) | 12.3m ³ (84.2) | (-0.9) | 😊 |
| | 3.ケルビズ・ウォームビズ を実施し冷暖房用燃料の削減 | | 都市ガスm ³ (kg-CO ₂) 灯油ℓ (kg-CO ₂) | 3.3m ³ (12.7) 1.9ℓ (4.8) | 4.1m ³ (16.0) 1.5ℓ (3.8) | (+3.3) (-1.0) | ▲ |
| | 4.物流の効率化で車燃料削減 | | ガソリンℓ (kg-CO ₂) 軽油(kg-CO ₂) | 2.9ℓ (6.7) 4.5ℓ (11.8) | 2.2ℓ (5.2) 5.4ℓ (14.1) | (-1.5) (+2.3) | ▲ |
| | | | 合計原単位 (kg-CO ₂) | (481.5) | (539.5) | (+58.0) | ✖ |
| E-2 | 1.塗装の品質及び生産性改善により引火性廃油及び汚泥の排出削減 | リサイクル排出量社内製造原単位(2016年度 8.7kg) | 原単位(kg) | 8.3kg | 7.4kg | -0.9 | 😊 |
| | 2.ネーティング 及び品質不具合削減により金属スクラップ 排出量の削減(アルミ缶を除く) | 金属スクラップ 排出量社内製造原単位(2016年度-3%235kg) | 原単位(kg) | 228kg | 204kg | -24.0 | 😊 |
| | 3.工程移動の改善及び下記新紙対策により紙リサイクル 排出量の削減(段ボール、包装紙、用紙など) | 紙リサイクル排出量社内製造原単位(2016年度-3%14.4kg) | 原単位(Kg) | 11.4kg | 12.0kg | +0.6 | — |
| | 4.文書及び記録の紙配布を廃止し社内LANを活用することで紙使用量を削減する。 | 新紙購入量削減 A4換算購入量 -3% 社内製造原単位250.2枚 | 原単位(枚) | 243枚 | 327枚 | +84 | ✖ |

6 . 2019年度達成状況

6-1 環境経営目標達成状況(続き)

原単位は生産高100万円あたり

| 番号 | 計画項目 | 目標値 | 監視項目 | 個別目標値 | 実績 | 差異 | 評価 |
|-----|---|--|----------------------|--------------------|--------------------|---------------------|----|
| E-3 | 1.塗装G水使用量の削減 塗装前処理水抜きなどの工夫で、 塗装水使用量を削減する | 塗装G水使用量 社内製造原単位 -5% 0.5m ³ | 原単位(m ³) | 0.47m ³ | 0.53m ³ | +0.06m ³ | ✖ |
| | 2.給水設備点検を行い、水漏れを防止して 一般水使用量維持 | 一般水使用量 社内製造原単位1.7m ³ | 原単位(m ³) | 1.7m ³ | 2.1m ³ | +0.3m ³ | ✖ |
| E-4 | 1.化学物質使用量の把握 (把握するのはPRTR制度対象物質) | 未把握物質0件 毎月使用把握100% | 0件 100% | 0件 100% | 0件 100% | 0 | 😊 |
| | 2.シナー購入量削減 前処理ラインの利用でシナー拭きを減らす | シナー購入量 社内製造原単位 -5% 7.1ℓ | 原単位(kg) | 7.3ℓ | 5.2ℓ | -1.9ℓ | 😊 |
| | 3.塗装不具合要因を分析し、不良を削減 | 塗装不良率 1.7%以下 | 不良率(%) | 1.7%以下 | 1.5% | -0.2 | 😊 |
| | 4.粉体塗装適用製品を広げVOCを削減する | 粉体塗料比率 26%以上 | 使用率(%) | 26%以上 | 24.8% | -1.2 | ✖ |
| E-5 | 1.環境に配慮した製品設計・部材調達 RoHS,REACH対応等顧客要求に応える | 顧客対応100% | 100% | 100% | 100% | 0 | 😐 |
| | 2.有害化学物質含有量の少ない部材調達ならび に供給者ネットワーク確立 顧客からのネットワー ク上での調査依頼に対して100%対応する | 調査依頼100% | 100% | 100% | 100% | 0 | 😊 |

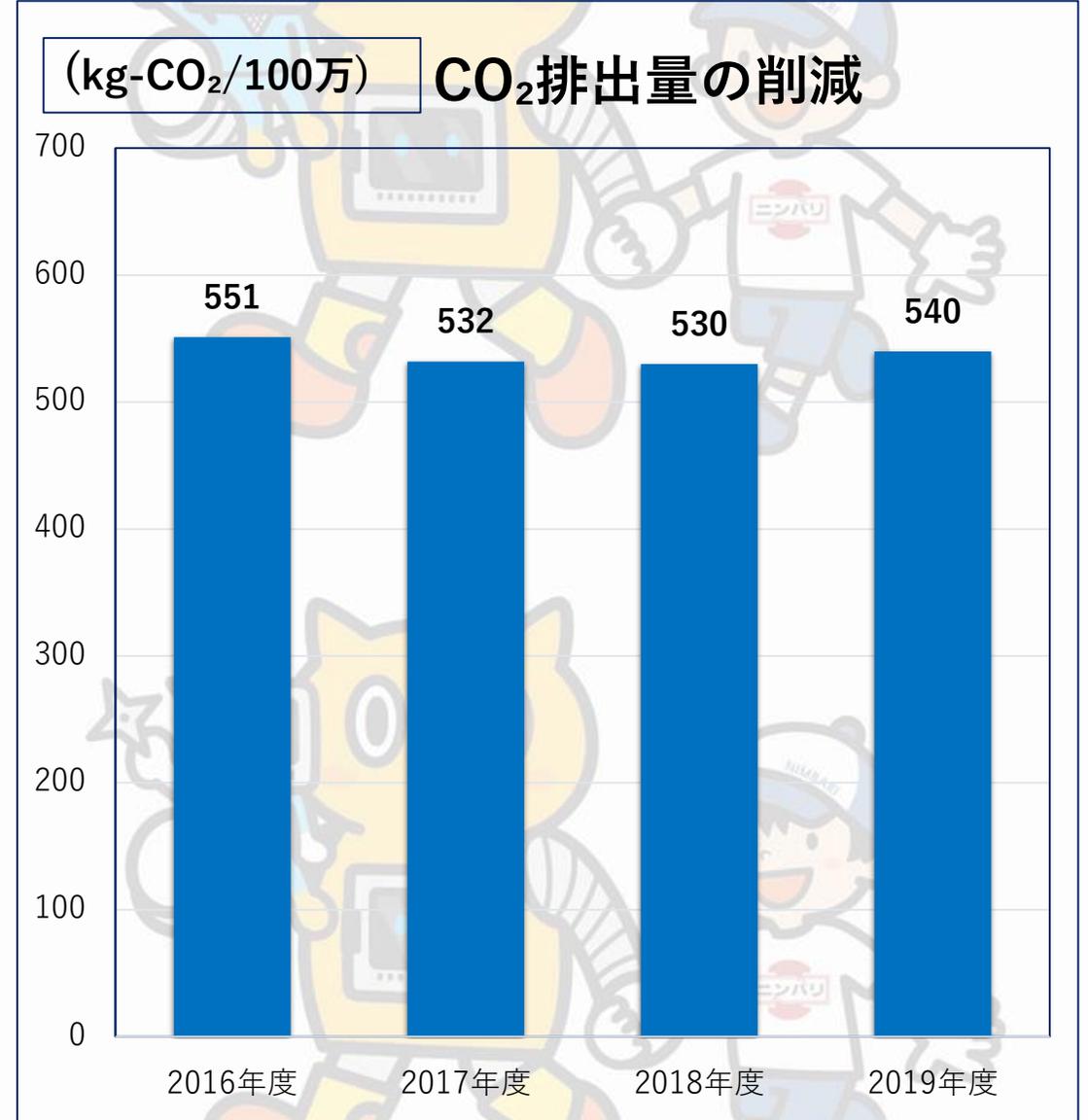
6. 2019年度達成状況

6-2 結果と評価

E1. 【CO₂排出量の削減】

CO₂排出量総量について、
直近3ヶ年の推移は右の通りです

2016年度を基準として-5%の
原単位目標値 523 に対して 540 と
目標値をクリアすることができませんでした
工場・作業所別に分析すると
本社工場の電気使用量が増大しました



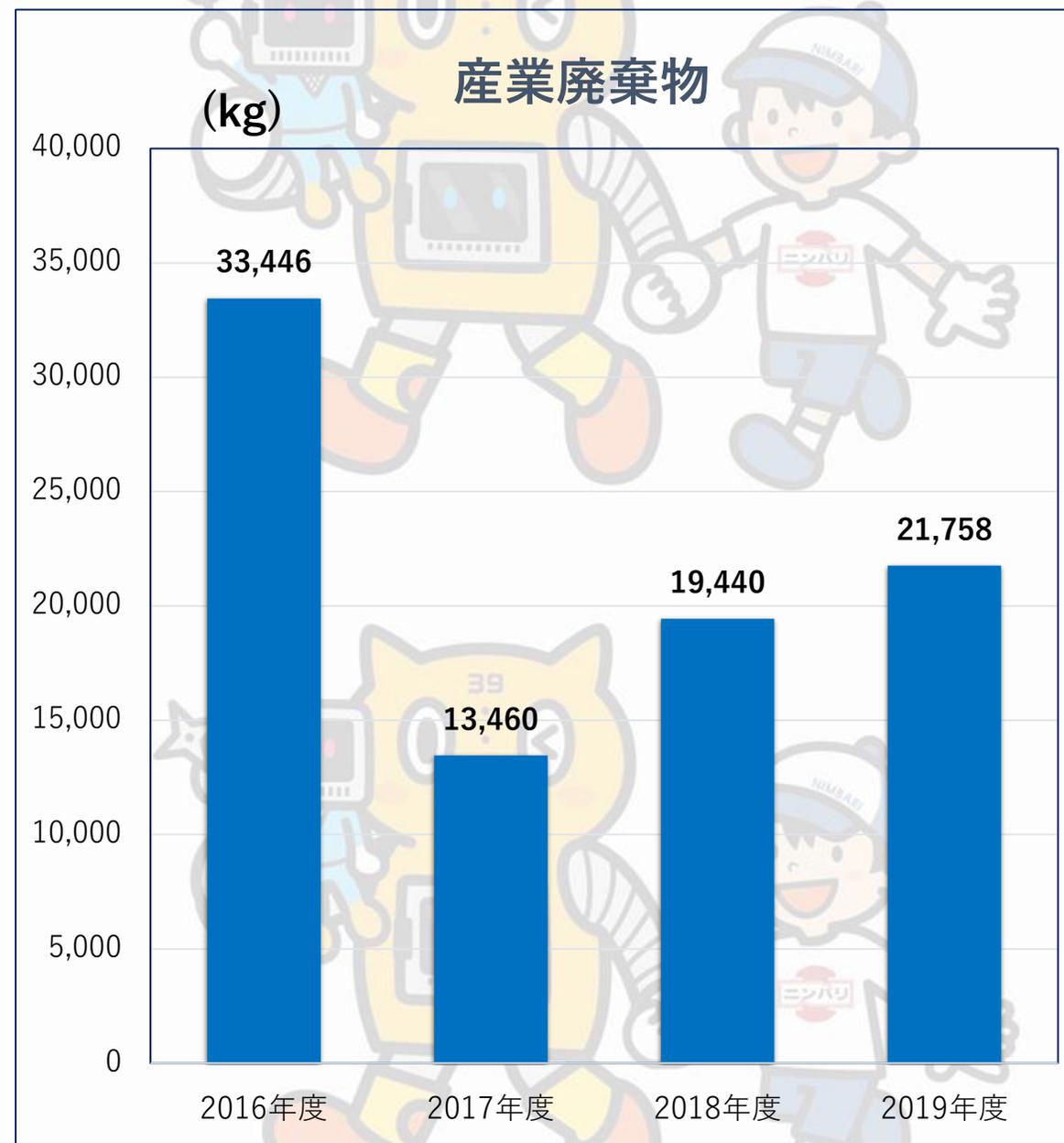
6. 2019年度達成状況

6-2 結果と評価（続き）

E2-1. 産業廃棄物削減

産業廃棄物の総量について、
直近3ヶ年の推移は右の通りです

廃プラスチック・ビニル系ゴミが
一般事業ゴミから産業廃棄物に
移行しつつあります



6. 2019年度達成状況

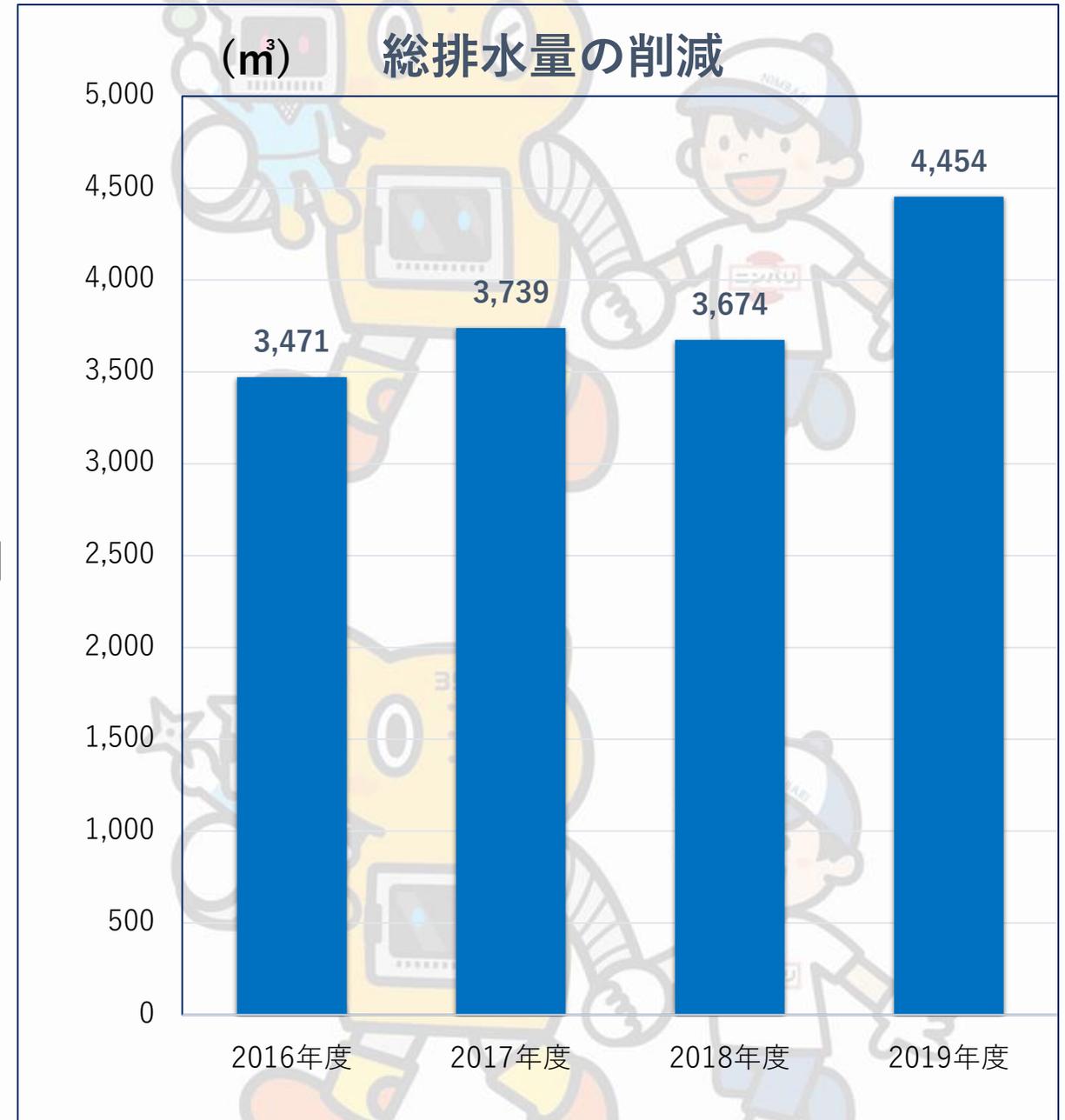
6-2 結果と評価 (続き)

E3. 総排水量(水使用量)の削減

水使用量について、

直近3ヶ年の推移は右の通りです

塗装設備で使用する水の量は増えていませんが、本社工場と三和工場の夏季に稼働する水冷式空調機の使用期間が延びたことが主な増加要因です

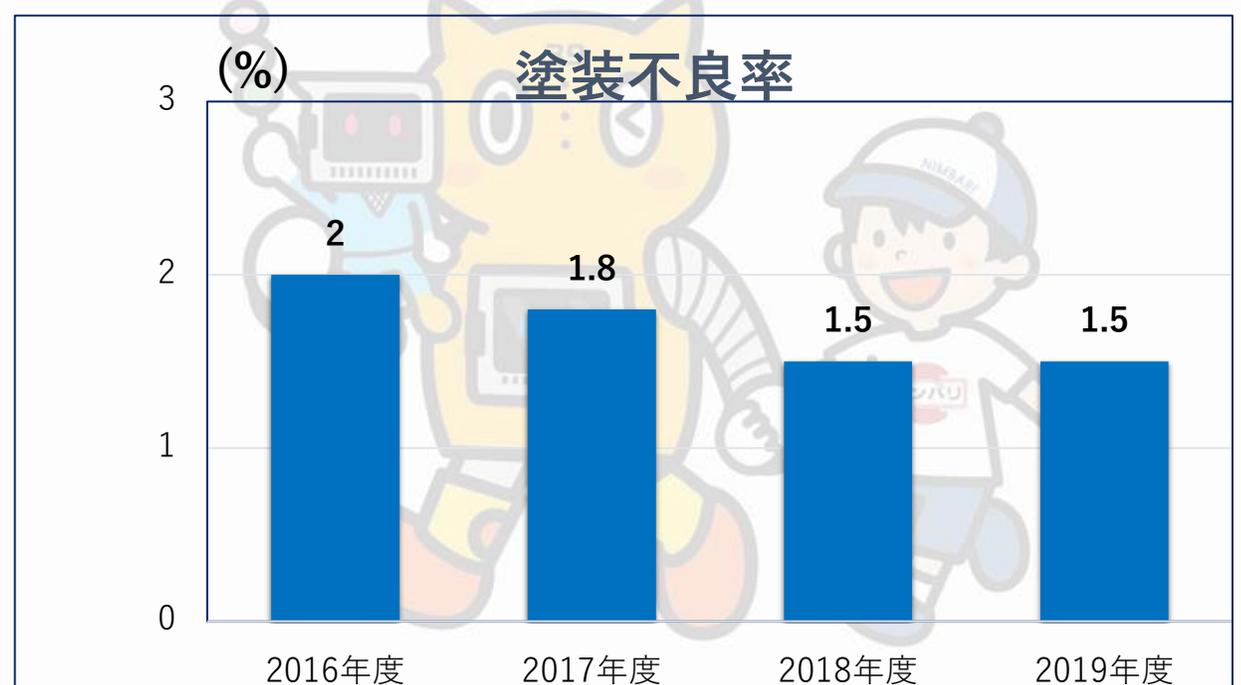


6. 2019年度達成状況

6-2 結果と評価 (続き)

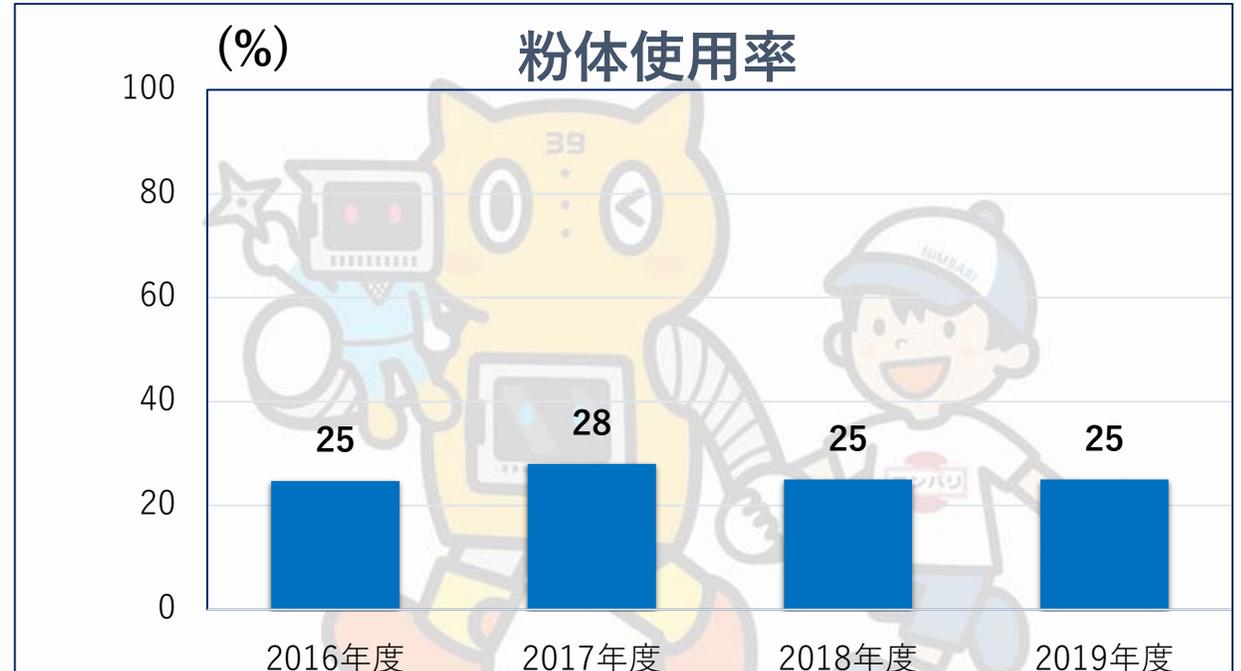
E4-3. 塗装不良率の削減

塗装不良率の削減について、直近3ヶ年の推移は右の通りです



E4-4. 粉体塗料(塗装)比率の変化

社内塗装Gの粉体塗料比率について、直近3ヶ年の推移は右の通りです



6. 2019年度達成状況

6-3 総量実績推移

| | | 2016年ベンチマーク | 2017年 | 2018年 | 2019年 |
|---------------------------|---|-------------|-----------|-----------|-----------|
| 売上高(百万円) | | 2,029.5 | 2,203.7 | 2,129.0 | 2,145.0 |
| CO ₂ 排出量 | 電気(kwh) | 1,498,364 | 1,759,963 | 1,758,916 | 1,803,028 |
| | LPG(m ³) | 26,030 | 27,826 | 24,905 | 26,628 |
| | 都市ガス(m ³) | 6,449 | 6,788 | 6,336 | 8,841 |
| | 灯油(ℓ) | 4,168 | 6,356 | 4,082 | 3,142 |
| | ガソリン(ℓ) | 6,030 | 5,072 | 4,420 | 4,748 |
| | 軽油(ℓ) | 9,199 | 10,643 | 10,519 | 11,517 |
| | 総量 CO ₂ 換算 (kg-CO ₂) | 1,117,646 | 1,172,148 | 1,128,796 | 1,157,228 |
| | 原単位 CO ₂ 換算 (kg-CO ₂ /100万) | 550.7 | 531.9 | 530.2 | 539.5 |
| 産業廃棄物排出量(m ³) | | 33,446 | 13,460 | 19,440 | 2.1758.4 |
| 水使用量(m ³) | | 3,471 | 3,739 | 3,674 | 4,454 |
| 新紙購入枚数 (A4換算：枚) | | 509,400 | 622,750 | 664,750 | 702,250 |
| 塗装不良率 (%) | | 2.0 | 1.8 | 1.5 | 1.5 |

7. マテリアルバランス

インプット

| | |
|----------|-----------------------|
| エネルギー | |
| ・ 電力 | 1,803,028 kWh |
| ・ LPG | 26,628 m ³ |
| ・ 都市ガス | 8,841 m ³ |
| ・ ガソリン | 4,748 ℓ |
| ・ 軽油 | 11,517 ℓ |
| ・ 灯油 | 3,142 ℓ |
| 金属材料 | |
| ・ 鉄板 | 2,869,904 kg |
| ・ ステンレス板 | 194,780 kg |
| ・ アルミ板 | 16,368 kg |
| 化学物質 | |
| ・ 溶剤塗料 | 21,092 kg |
| ・ 粉体塗料 | 7,541 kg |
| ・ シンナー | 11,056 ℓ |
| 紙 (A4換算) | 702,250 枚 |
| 水 | |
| ・ 上水道 | 4,454 m ³ |

事業活動

営業
設計・開発
工程計画
資材調達
製造
物流
出荷

アウトプット

| | |
|------------------------|------------------------------|
| 二酸化炭素排出量 | 1,157,228 kg-CO ₂ |
| リサイクル | |
| ・ スクラップ(鉄) | 382,560 kg |
| ・ スクラップ(ステンレス) | 37,505 kg |
| ・ スクラップ(アルミ) | 4,095 kg |
| ・ 段ボール、用紙類 | 25,628 kg |
| ・ 引火性廃油・汚泥 | 15,800 kg |
| 廃棄物排出 | |
| 産業廃棄物は、塗装汚泥・廃プラ・混合等の合計 | |
| ・ 産業廃棄物 | 4,258 kg |
| ・ 木くず | 17,500 kg |
| ・ 一般事業ゴミ | |
| 水 | |
| ・ 排水 | 4,454 m ³ |

8. 環境関連法規等の法令遵守の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

8-1 法令遵守状況

| 適応法令(条例) | | 確認日 | 遵守状況 | 適合・不適合 |
|----------|----------|-----------------------------|--|--------|
| 廃棄物処理法 | 廃シナー | 特別産業廃棄物管理責任者設置 (2008年5月) | | 適合 |
| | | マニフェスト管理 | 産業廃棄物管理票交付等状況報告書提出 | 適合 |
| PCB特別措置法 | 変圧器内絶縁油 | 特別管理産業廃棄物看板設置 | P C B 微量含有廃油を特別産業廃棄物を特 管産廃処分依頼(2014年12月) 東大阪市に届け出完 (2016年6月) | 適合 |
| 自動車排ガス規制 | | 大阪府流入車規制条例 | 各新車両の選定時に適合車を都度選定 | 適合 |
| フロン排出抑制法 | フロン排出抑制法 | 2015年4月法確定 | 空調機等は使用中につき、フロンの充填、 空調機等の廃棄時に適正処理する。 社内の空調機等の設置場所と設置台数の確 認。自主点検の実施。 | 適合 |
| 下水道法 | 東大阪市条令 | 2018年9月 | 適合 | 適合 |
| 悪臭防止法 | 特定悪臭物質 | 2018年9月 | トルエン及びキシレンで測定 | 適合 |
| 騒音規制法 | 騒音規制法 | 2018年10月 | 新設/変更なし | 適合 |
| 振動規制法 | 振動規制法 | 2018年10月 | 新設/変更なし | 適合 |
| PRTR法 | PRTR法 | 2018年10月 | 大作府知事に届け出完(2018年10月) | 適合 |

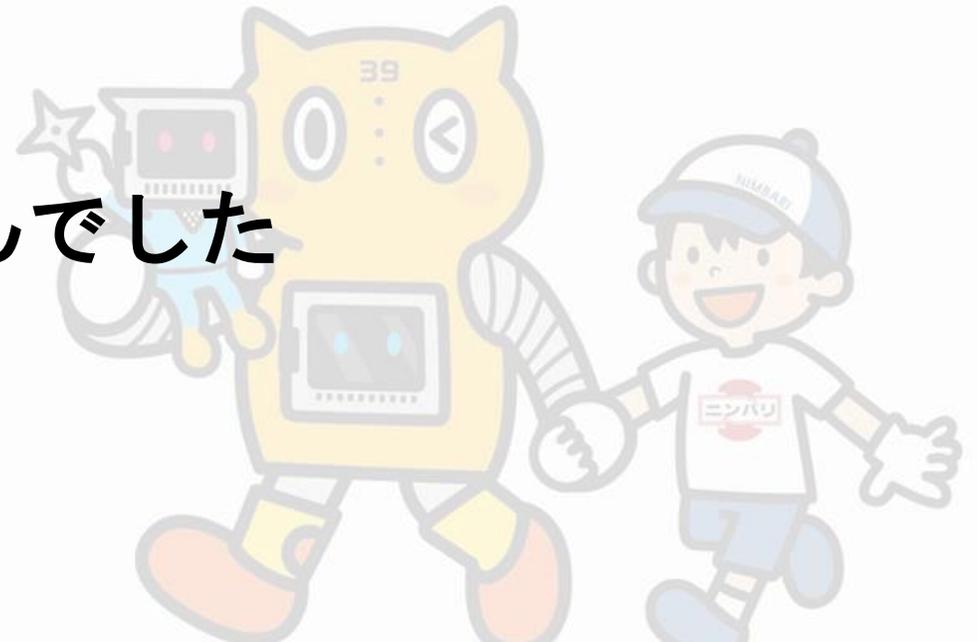
8. 環境関連法規等の法令遵守の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟の有無

8-2 違法・訴訟の有無

違法・訴訟はありませんでした

8-3 近隣からの苦情の有無

近隣からの苦情はありませんでした



9. 2019年度の取組み

9-1 事業継続計画 (BCP)



株式会社仁張工作所
代表取締役 仁張 正之 殿

20200117 近畿第1号
令和2年1月23日

近畿経済産業局長 米村 猛

事業継続力強化計画に係る認定について

令和元年12月12日付けをもって申請のあった事業継続力強化計画については、中小企業等経営強化法第50条第1項の規定に基づき認定する。

2020年3月12日

特定非営利活動法人 大阪環境カウンセラー協会
理事長 高井 茂

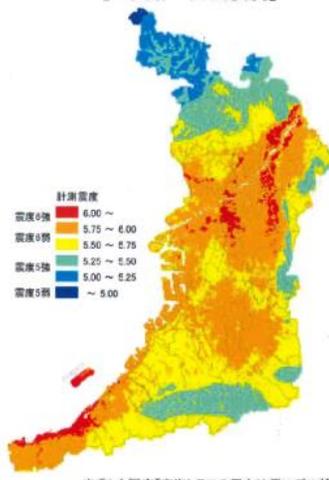
修了証書

株式会社仁張工作所 坂本 知加恵 殿

貴殿は、大阪府中小企業家同友会で実施した「2019年度 BCP(事業継続計画)策定スクール」に参加し、所定のカリキュラムを修了したことを証明します。



【内閣府 計測震度】



出典)内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」

内閣府作成 震度マップ



- 2019.12.12 「事業継続力強化計画に係る認定」取得しました。
- BCP(事業継続計画)策定スクール〔大阪環境カウンセラー協会〕に参加、所定のカリキュラムを終了しました。(2名受講)

9. 2019年度の取組み

9-2 消防訓練(11月12日)



地元でラグビーワールド
カップ2019が開催され
消防署の立会いはありま
せんでしたが、
毎年実施している避難
訓練・消火訓練を実施
しました。
(消防署届出済)



9. 2019年度の取組み

9-3 非常事態処理訓練(12月3日)



塗装ブースの循環水流出を想定して、緊急事態処理手順書に基づき応急処置訓練を実施しました



10. その他の取組み

10-1 地域の清掃活動(6月3日)



環境月間のもう一つ活動として、
毎年恩智川沿いの道の清掃活動
を行っています



11. マネジメントレビュー

11-1 経営者による全体評価

2019年度は売上 2,145百万(前年比100.8%)、経常利益 102百万(前年比61.9%)と収益構造を維持しながらも売上横ばい、利益減少となりました。特定顧客からの受注が140%に増加しましたが、粗利率が低かったことが主要因です。

昨年、環境経営目標値のベンチマーク基準年度を2012年から2016年に変更したことで、環境側面の数値は現在の経営状況を、より正確に報告できるようになりました。

2019年環境経営目標値は2016年比-3%~-5%を目指しました。その結果、原単位(売上高100万単位)で比較すると、LPG(塗装)・灯油・ガソリン・塗装不良率・廃油や汚泥・金属スクラップは目標値以上削減(改善)することができました。一方で、電力・都市ガス・軽油・紙・水などの使用量が目標値以上となりました。紙リサイクル量が増えたことは社内分別回収がすすんだと評価します。環境経営目標値を超えた項目を含め、経営と環境を一体的に取り組む活動は展開できたと考えます。

2019年12月エコアクション21中間審査の結果は適合評価でした。総合コメントでは働き方改革推進策として内部コミュニケーションツール「direct」やRPAの活用に取り組んでいることなど評価されましたが、一方で環境経営レポート発行が年度終了後10ヵ月経過したこと、社会の変化と関連づけに改善の余地があることなど、より有効活用できる余地があることを改善事項としてアドバイスいただきました。

(参考) QMS/EMS定期マネジメントレビュー(2019.11.18)、エコアクション21中間審査(2019.12.9, 12.17)、2019年度決算報告書

11. マネジメントレビュー

11-2 次年度に向けて(アクション)

2019年度は、事業経営を通じた環境への取組みをすすめたが、環境管理責任者と担当者の交代、環境経営レポート発行遅延や組織の新陳代謝が大きく影響し、前年度に策定したアクションの全てを実践することができませんでした。そのため、昨年度(2019年)のやり残しを含め、以下の項目を次年度(2020年)に向けての取組み項目とします。

- ・ 財務データや労務データの他にエネルギー使用量などの環境側面把握のための生データの集計を一元化し精度を高める。
- ・ 自然災害のみならず、2020年渦中にあるコロナ感染拡大予防対策を含めたBCP策定に取り組む
- ・ 2021年度経営者交代(事業承継)に向けて、ニューリーダーが示す環境経営を再構築する。
- ・ 「環境経営レポート」の発行時期を早め(目標2021年6月発行)、本年度(2021年)環境経営活動のPDCAにつなげる。

以上

あしがき

2019年度環境経営レポートを最後までお読みいただきありがとうございます。

当社の事業年度期末は12月20日のため、毎年夏ごろに環境経営レポートを発行しておりました。それに対し、昨年度に引続き、本年度も環境事務局のメンバーが一新したことなどが影響し、発行時期が遅れてしまいましたことをお詫びいたします。

現在、2020年3月頃から日本で感染拡大したコロナウィルスの影響で、健康面や経済面で経験したことのない困難に直面しております。100年前の大流行したスペイン風邪は、ワクチンという言葉すらない時代にどのように収束したのかわかりませんが、やがてコロナ感染も収束すると考えます。

それまで、BCPを見直し、「課題とチャンス」ととらえ、経営と環境活動の維持に努めたいと考えます。

あきらめず、ともに前を向いてがんばりましょう。

環境事務局(代理) 仁張正之・中村志帆
仁張 茂(環境管理責任者)

初版発行 2020.9.20